2013 年 10 月 28 日/千葉大学附属図書館Ⅰ棟 1 階コンテンツスタジオ

2013 年度アカデミック・リンク・セミナー(第 3 回)

「学修支援における学生との協働」参加者アンケート集計結果

当日参加者数：23 名　　アンケート提出数：　18 件

千葉大学アカデミック・リンク・センターでは、「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ『考える学生』を育成することを目的とし、デジタル時代における大学の学習教育環境の改革に取り組んでいきます。今後の活動のために、本日のセミナーに参加されたご意見・ご感想をお寄せください。

1．本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

・お話を聞いて、もっと学生と向き合う必要があると感じました。頭でっかちで動いていると、ただやるだけのサービスになってしまっていると自分の業務を振り返って感じます。
・他大学での学修支援の取り組みの詳細が分かり、大変勉強になった。
・同じような取り組みでも、そのスタンス、構造によって差異があることに、学生としては面白かった。ただ、新しすぎるサービス故に、データ量不足であることも発見の 1 つであり、データの集め方には苦心が続きそうであると思った。
・学修支援の取り組みは大分普及したと感じていましたが、やはり、客観的な評価方法はまだまだ難しいということを改めて認識しました。
・学生協働の活動内容が多く、学修支援と利用支援とは準備や活動プログラムにも違いがあるので、一緒に考えることは難しいことがわかりました。夜間アルバイトとのすみわけもあり、最初から分けて考えることが必要と思いました。
・学生コンシェルジュの活動（サポート）について、資料の使い方以上に、履修方法や就活関連の話などレポート以外の話が多いという点がおもしろかったです。また、サービスを利用する側だけでなく、サービスをする側の成長という点はもっと意識したいと思った。
・受託業者の立場から、図書館内での諸々の活動に院生（学生）の力を活かすヒント・アドバイスをいただけました。
・学習支援に大学院生がかなり活用されていることがわかった。
・試行を続けながら、各館それぞれが、様々な工夫をされている状況がよくわかりました。
・タイプの異なる大学図書館で、すぐれた取り組みがされているのを伺えてよかった。
・近年、学修支援の成功事例が増えてきたが、今後の課題として、検証・評価がポイントとなってくると感じました。
・図書館で学修支援を行う意義、また、ライティング、図書館のサポートなど様々な分野があることが理解できた。
・学修支援について、まずは、自分の大学の学生教育の現状を理解することが必要　ということが分かりました。

2．本日のセミナーで、よくわからなかったこと、疑問に残ったことがあればお書きください。

・研修（学生への）の担当はどう分担しているのかを聞きそびれました。
・端的にいって、「ゼミの先生・先輩に聞く」に学生をとられていることへの意見はあるのか、ということである。データーベース持ちであることと、あくまで“フォロー”であることに、利用者側が大きく意味を感じられているのか、感じさせるような“存在意義”への取り組みは発展していけるのか、が気になる。

（次頁へ続く）

・取り組みのきっかけに関してよく分かりませんでした。風潮による要請よりも、内部からの切実な要求を発起とするのでなければ、方向性が固まらないのではないのでしょうか。
・下世話な質問ではばかられたのですが、学生の得られる報酬（時給/コマ/月給）、支援内容によって差異があるのかお聞きしたかったです。本学のステューデント・アシスタントは時給 1,000 円です。
・サポーターの募集に苦労されていないこと。また、職員が豊富なのだろうと思われた。
・学生の協働としてのチューターor コンシェルジュの活動があると思うが、例えば高校にも広げることはできるだろうか。（学外、外部にでかける、出張する。）
・対面式がほとんどだと思うが、ネットを通じての支援のようなものはあるか。（予約以外で）
・どうやって学生をトレーニングしているのか。

３．今後もアカデミック・リンクではセミナーやシンポジウムを企画していきます。そこで、取り上げてほしいテーマや講師があれば、お書きください。

・実際に効果のあった、学習相談活動アピール方法。
・大学図書館らしい広報のあり方、ソーシャルメディアに関することなども聞いてみたいと思います。
・アクティブラーニングへの取り組みについて。
・電子資料、e-book、ジャーナルの学生向け活用、広報

４．本日のセミナーの内容について等、その他、自由にご意見をお書きください。

・学生の身には貴重な体験でした。ありがとうございました。
・スライドの使用が慌ただしく、進行が若干単調だったのが残念です。
・大きな大学（研究型）での図書館サポーター活動について報告があったらよかったです。
・本学でもライティングセンターをスタートさせ、試行錯誤をこれから始めるところなので、参考になりました。いかに、図書館員が新業務への負担感を感じることなく進めていくか、全学的に評価を受けられる業務となるか、課題は山積していますが、取り組んでいきたいと思います。
・学生とのつながり、教員や他部署とのつながりなど、図書館だけでなく、大学全体で足並みを揃える必要があり、なかなか一筋縄ではいかない部分が多い印象を受けました。
・大学図書館が学修支援について何をどこまでやるべきか、東工大として検討する上で大変参考になるセミナーでした。
・大変勉強になりました。ありがとうございました。
・姉川先生が、質問の内容を遠慮なさらず、もう少し端的におっしゃって頂ければと思いました。
・２度目の参加です。普段自分が困っていることと同じ事例が紹介されていたり、新しい見方が示されていたりして、勉強になります。ありがとうございます。
・どうもありがとうございました。
・次回もぜひとも参加させていただきたいと思います。
・利根川さんの発表がよかった。
・職員側だけでなく、チューター側の意見があってもよかったかもしれない。（可能だったら）

５．次の（１）、（２）について、該当するものに〇をつけてください。

（１）　a.学外から参加　15名　　b.学内からの参加　3名

（２）　a.学生　2名　ｂ.教員　1名　ｃ.大学職員(図書館職員を除く）0名　d.図書館職員　11名

e. 出版関係　0名　f.その他　3名

無回答１ 名

６．セミナーを何で知りましたか？

a.Web(アカデミック・リンク・センター)　3名　b. Web（図書館）0名 c.Web（千葉大学）0名

d.図書館内電子掲示　0名 e.ポスター　1名　f.センターからのメール　6名

g. Facebook・Twitter　0名　h.その他(　知人より、先生からの紹介で、所属機関宛てメール)7名

無回答 1名

千葉大学 アカデミック・リンク・センターでは、セミナーの開催や関連する情報を提供しています。これらの情報を希望される方は、お名前・ご所属・メールアドレスをご記入ください。（既に登録されている方は引き続きお届けしますので、空欄で結構です）

お名前：(　　)

ご所属：(　　)

電子メールアドレス：　□申込時に申請したもの　□それ以外（　　）

ご協力ありがとうございました。

※7名が新規に継続的な情報提供を希望